

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	成人保健(歯科保健含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-02		氏名	難波 巧
			電話	64-1819	
			このシート作成に要した時間		2.0 時間

この施策のアピールポイント	生活習慣病予防や健康づくりに関する正しい知識の普及啓発や適切な支援による市民の健康保持増進、健康寿命の延伸、医療費抑制
---------------	---

この施策の平成24年度の施政方針	成人保健についてありますが、各種がん検診について、検診期間の延長や複数検診を同日実施するなど検診の利便性向上に努めるとともに、無料クーポンなどによるがん検診推進事業や企業連携によるPRの実施などにより、受診率向上を目指します。また、生活習慣病予防・改善のために、特定保健指導や健康教育・健康相談などの支援を引続き実施し、健康増進事業に取り組んでまいります。
------------------	--

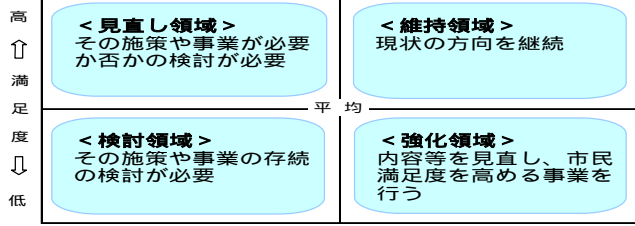
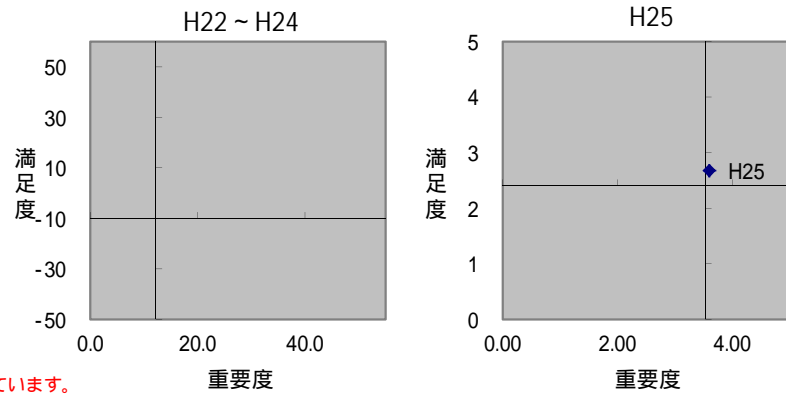
< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	生活習慣病を予防し、健康的な生活習慣実践を普及する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	自分の健康に気を付けている市民の割合は、平成21年88.5%、平成22年89.3%、平成23年88.8%、平成24年90.7%と概ね9割で高いものとなっている。市民一人ひとりが生活習慣を見直すとともに、健康診査を受け、心疾患、脳血管疾患などの危険因子とされる糖尿病、高血圧症、高脂血症の早期発見や予防に努める方向に普及、啓発を図らなければならない。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 各種成人病健康診査 健康教室、健康相談などによる保健指導 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)				3.60
満足度(%)				2.68

横軸に重要度、縦軸に満足度ととり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	健康づくりに関する項目では、健康診査を毎年受けている市民の割合は、平成22年74.2%、平成23年70.7%、平成24年73.4%となった。また、週1日以上運動をしている人の割合は、平成22年42.4%、平成23年42.7%、平成24年40.4%となり、たばこを吸っている人の割合は、22年19.0%、平成23年18.6%、平成24年17.1%と減少している。更に推移を見守っていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H22	H23			H24	H25
自分の健康に気を付けている市民の割合	目標	%	93.0	93.0	95.0	市民意識調査	H25	95.0
	実績	%	88.8	90.7	86.7		H28	95.0
	達成率	%	95.5	97.5	91.3		-	-
	ベンチマーク						-	-
婦人がん検診受診率	目標	%	30.0	30.0	30.0	受診者数/対象者数	H25	30.0
	実績	%	20.8	17.1	19.4		H28	30.0
	達成率	%	69.3	57.0	64.7		-	-
	ベンチマーク						-	-
特定健診 肥満気味・肥満者の割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	肥満者数(BMI25以上)/特定健診受診者数	H25	20.0
	実績	%	22.8	22.8	24.0		H28	20.0
	達成率	%	86.0	86.0	80.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
特定保健指導実施率	目標	%	35.0	40.0	45.0	実施者数/対象者数	H25	25.0
	実績	%	14.5	11.0	17.6		H28	50.0
	達成率	%	41.4	27.5	39.1		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
介護福祉課	健康教育事業・健康相談事業	65歳以上の市民の健康づくりは介護予防事業(地域支援)として実施している。
保健課 保険医療係	特定健診	国保40~74歳を対象とした健診を受診した人のうちメタボの予防及び改善の必要な人に対して特定保健指導事業を実施している。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	成人保健については、生活習慣病の予防が重要となるが、そのためには本人の認識と取組みが基本となり、本指標はそれを表している。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	生活習慣病を予防するため健康診断事業を中心にすえ、各種事業を構成している。(平成20年からは国保事業である特定保健指導を実施するなど、事業体系を変更している。)	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	元気で高齢期を迎えるための施策であるが、一方、医療費の増加に歯止めをかける効果も期待されている。	
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		各種検診について、受診し易い体制づくりや勧奨を行い、受診率の向上を図る。レディースナイター検診、3セット検診 H26年度の各種検診の実施方法について、受診率向上に向けた検討を行う。特定保健指導について、積極的に勧奨を行っていく。	
翌年度(H26年度)の取組目標		各種検診について、受診し易い体制づくりや勧奨を行い、受診率の向上を図る。特定保健指導について、積極的に勧奨を行っていく。	
二次評価者コメント		「自分の健康は自分で守る」これが基本ですが、疾病の早期発見、早期治療のためにも、検診は必要です。受診率がアップする方策を、検討してください。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職 保健福祉部長 氏名 金光 亨			

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 各種検診事業	子宮がん検診事業	法定	5,046	2,242	0.35	4,364	2,011	0.33	5,909	1,863	0.32	7,466	
	乳がん検診事業	法定	6,237	2,968	0.48	6,151	2,400	0.41	7,099	2,829	0.49	8,965	
	胃がん検診事業	法定	5,225	1,804	0.30	4,790	1,685	0.26	4,229	1,287	0.19	4,846	
	大腸がん検診事業	法定	4,263	1,253	0.21	4,953	1,115	0.23	4,811	2,502	0.43	5,374	
	肺がん検診事業	法定	1,428	2,160	0.34	1,304	1,601	0.23	1,160	2,172	0.32	1,544	
	前立腺がん検診事業	単市	1,419	197	0.03	1,212	289	0.07	1,269	185	0.03	1,657	
	節目健康診査事業	単市	79	125	0.02	110	176	0.04	72	123	0.02	255	
2 健康増進事業	健康教育事業	法定	9,562	6,235	0.87	747	5,935	0.81	759	4,808	0.75	496	
	健康相談事業	法定	236	2,449	0.35	256	2,844	0.39	266	2,114	0.32	258	
	健康診査事業	法定	3,433	1,129	0.16	4,278	695	0.09	5,577	901	0.16	5,920	
3 特定保健指導事業	特定保健指導事業	法定	0	2,797	0.42	0	2,352	0.34	0	3,685	0.58	0	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度	
			36,928	23,359	3.53	28,165	21,103	3.20	31,150	22,469	3.61	36,781	